

10月の新着図書 10月17日

□ 『この父ありて』

木暮久美子 大鶴春木

石垣リムル、茨木のり子さん、田辺聖子さんなど、ものを書いた生たち。母さんのお父さんって、どんな人だった？ おもしろい、"父親"の物語です。

□ 『日本の海』

木暮久美子 大鶴春木

「木暮」とは、「木暮」根である「木暮」のこと。元祖と称される(まの)巨匠「木暮」様、山本義一に「木暮」様「木暮」様の「木暮」様を紹介。掲載されている写真に感動します。

□ 『ブルー・マウンテン』

ジェームズ・ジョージ・スミス SBクリエイティブ

「サマのコーヒー」
「ココアと唐辛子風味のコーヒー」
「茶とココアのコーヒー」...どれも素敵です！
園芸と化学の分野に分けて作られた
新作「茶とココア」が、これぞ！ 言葉が作られています！

□ 『重宝のついで』

山本義一、鈴木久美子 集英社

「山本」に「山本」さん、山本さんと、山本さんに
なりたい金さん、言語の進化と未来に
ついて語っています。

...これだけ「山本」さん、山本さんという感じ
ですが、めっちゃおもしろい本です。
あと、P81に「山本」さん、山本さん。

◆ 図書館職員のつぶやき ◆

緑の小道を抜け、ドアを
開けると...
新しい本たちがあふれ、
まず、図書館に入ってみて、
心ゆくまで、まわって、
読んで、
読め、聞かせ。

オーディション番組を
見つけています。こんな
「うつくしき」番組。もしや
番組目録。うちの可愛い子
がデビュー、できそうです。

県短の森を歩くのが好き
春、夏、秋、冬 ひっそりと咲く
野の花、毎日、はげまされています。



鹿児島県立短期大学 附属図書館

電話：099-803-4475 FAX：099-803-4473

<https://www.k-kentan.ac.jp/library/index.html>

県短図書館

通信

令和 5 年 11 月 第 2 号

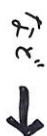
楽しみについて「木暮」様「木暮」様
終わりました。
春が待ち遠しいなあ、もしや。



◆ 障害のある人の世界を介する

◆ 10月に入、7本の紹介

◆ 連載：「著作権」について



◆ 日手話の世界と方言ねよう山田井中孝

◆ 日本語の世界を言方ねようの亀井(申孝)
(岩波ジュニア新書)
言語の一つである日本語。英語や日本語や他の

言語と同じように、文法があるんです！
例として「食べる」という単語。

「食ハ」る」という単語。

学上とは同様に「正キハウ」を「正と書
クハ違ふ」
表し情をける言葉!
うはすく → 「食はず」 (肯定)
うはずき続ける → 「食はずにぞう」 (quantity)
という量、口末にはなるべし。

そんな、面白すぎる本活の世界を代表する1-1は
ビタリの一冊です。

◆ 『自閉症の僕が跳けたいと考える理由』
東田 直樹 (エッセー・小説家)

「大きな声はなぜ出るの?」
「歌が心にはねるのだから、」
会話はなぜかよくと、自分の気持ちや考えを言葉で表現するのは、東田さん。自閉症の方には、そういう風に思っている人だ、という点が発見が盛りにくいです。お互いの世界を知るときは、よりよい社会をつくることかもしれません。

◆ 記憶する日本 伊藤亜紗 (春秋社)

金庫でありながら、それをとる習慣がなくなっている。女性性、障害により、下半身には何の感覚もないのに、足から血が出てくるのを見ると、痛いような感覚が、出てくるという男性性……。1本に蓄積可能な量、2、3本にすくいとるのとは違う。あらためて、人1人、よく不思議。

>連載・「著作権」って何だろう？<

第2回 「著作物の2何？」

前回お知らせしたとおり、みいさんのレポート
著作物。じゃーは、

著作物とは「思想又は感情を創作的に
表現してそのものの、文章、学術、美術又は
音楽の範圍に属するもの」とからなる。

みなさんの意見がまとめられて、文章となり
出カされたレポートは立派な著作物。

豆頁の中を考へてゐる「イ」が「ハ」に×
表示しない、著作物として認められ
ません！ 注意！

図書館からのお知らせ

① KLC (果短イェリ-グナブ) のメンバー

カ' 選んT = '本が' 入リまL T = 0

→ プリウスにミズミ、みんなの選書に本の
貸出できるようにしよう！

面白うて本がてくせんありまふ
本館の入口近くにおいでます。

② 大先輩・山下道代さんの貴重なお

資米斗をい^テニ^テニ^ニさまい^テニ。

→ 白文の学生はモウソン、ナバエンに
負いまゐり、賈餘は資料の数々。
昭和26年当時の卒業論文、
本当に素直な可也。